

# コンクリートと補強材の付着定着挙動と構成則の利用研究委員会

## 第4回 WG1 議事録（案）

日 時：2010年9月28日（火）15:00～17:30

場 所：JCI会議室

出席者：島委員長，金久保幹事，角，栂山，近藤，松家の各委員

### 資料

WG1-4-1：6/18開催第3回WG1議事録（案）[金久保]

WG1-4-2：WG1検討事項 ver.2010.04.02 [金久保]

WG1-4-3：19世紀末～20世紀初頭の付着・定着関連文献 [佐藤]

WG1-4-4：文献リスト Beton und Eisen, Zeitschrift..., ASCE [佐藤]

WG1-4-5：文献リストおよびキーワードの星取表 [松家]

WG1-4-6：理論解による感度解析 [八十島]

### 議事

#### 1. 前回WG1議事録の確認

2010年6月18日に行われた第3回WG1議事録の確認および資料WG1-4-2のWG1検討事項と担当者の再確認を行った。

#### 2. 付着に関する歴史（文献リスト）の資料確認

佐藤委員がWG3出席のため、WG1出席委員で資料WG1-4-3の確認を行った。オーストリア、ドイツ、アメリカの19世紀末～20世紀初頭の付着に関する資料を取りまとめたものである。すでに体裁も整っており、報告書に取り入れる。佐藤委員の文章コメントについて、次の議論があった。

- ・ 曲げ試験の結果における剛性増大は、テンションスティフニング効果のみとは言えないであろう。表現を若干修正してもらおう。
- ・ 1917年のアメリカの規準における鉄筋間隔の規定は、施工性を考慮していないかどうかわからない。表現を若干修正してもらおう。

#### 3. 付着関連文献リストの星取表について

松家委員から、資料WG1-4-5に基づき、土木学会論文集、建築学会論文集のリストアップ文献について、試験方法、載荷条件、実験要因について項目を整理した星取表の説明があった。現状ではリスト毎に項目が異なっているので、項目を統一しテンプレートとして文献調査担当の委員に配信し、作業を進める。次の事項の議論があった。

- ・ 土木学会論文集リストのNo.4は削除する。
- ・ 各委員が目にとまった段階で、逐次、追加、削除を行っていくこととする。
- ・ 報告書でのテキストの作成？

#### 4. 理論解による感度解析について

八十島委員が欠席のため、WG1 出席委員で資料 WG1-4-6 の確認を行った。3 つの  $\tau$ -s モデルについて、両引き、片引きの付着応力、鉄筋引張力、すべり量分布の理論解を求めたものである。現状では、理論解の一覧までである。次の事項の議論があった。

- ・ 今後、分布の図示をお願いする。
- ・ 感度解析の要因については、各パラメーターが及ぼす影響、 $\tau$ -s モデルの違いが及ぼす影響の 2 つの観点から取りまとめることが可能か。
- ・  $P_{sx}$  と  $S_x$  の関係もあるとよい（鉄筋応力とひび割れ幅の関係）。

#### 5. WG1 の活動目標（成果物の使途）について

金久保幹事から、WG1 の活動目標について、次の方針の提案があった。

- ・ WG1 では、学生などの付着初心者向けに、例えばゼミでの勉強会で使用できるような、付着問題の基礎的内容を扱った報告書を作成したい。

#### 6. 次回 WG

11 月に WG を行う。金久保幹事がメールにて日程調整する。